

感染対策指針

社会福祉法人 紀宝町社会福祉協議会（以下、「当会」という。）は、利用者の健康と安全を守るための支援が求められる介護保険サービス・障害福祉サービス事業者として、感染を未然に防止し、発生した場合は感染症が拡大しないよう、速やかに対応する体制を構築するとともに、利用者の健康と安全を継続的に守るため、本指針を定める。

1. 基本的な考え方（目的）

感染予防・再発防止対策および集団感染事例発生時の適切な対応等を施設・事業所等における感染予防対策体制を確立し、適切かつ安全で、質の高い介護保険サービス・障害福祉サービス支援の提供を図ることができるよう、感染対策マニュアル・感染症業務継続計画（BCP）などのマニュアルを遵守するとともに、当会における適正な感染対策の取組みを行う。

2. 感染予防・再発防止対策および集団感染事例発生時の適切な対応等の整備

（1）平常時の対策

- ① 「感染対策委員会」を設置・運営し、適正な感染予防・再発防止策等を整備する態勢の構築に取り組む。
- ② 委員会構成メンバーは次の通りとする。
事務局長・各事業所長・各事業所長補佐・各係長
- ③ 感染症対策委員会の開催
年2回の定例会議および緊急時の臨時会議を開催する。
- ④ 職員の清潔の保持及び健康状態の管理に努め、特に、従事者が感染源となることを予防し、利用者および従事者を感染の危険から守ることを目的とした「感染対策指針」を整備する。
また、「日常支援にかかる感染管理」として、以下の項目を定める。
イ) 利用者の健康管理
ロ) 職員の健康管理
ハ) 標準的な感染予防策
ニ) 衛生管理
- ⑤ 職員教育を組織的に浸透させていくため、全職員を対象に年1回以上の「研修」（含む入職時）を定期的実施する。
- ⑥ 平時から実際に感染症が発生した場合を想定し、感染症発生時において、迅速に行

動できるよう、発生時の対応を定めた指針に基づき、職員を対象に年1回以上の「訓練」を定期的に実施する。

- ⑦ 感染対策委員会を中心に感染に関する最新の情報を把握し、研修や訓練を通じて課題を見つけ出し、定期的に指針を見直し「指針の更新」を行う。

（２）発生時の対応

- ① 日常の業務に関して感染事例または感染の恐れがある事例（以下「感染事例等」という。）が発生した場合には、感染対策マニュアルや業務継続計画（BCP）に従い、直ちに「発生状況の把握」に努める。
- ② 感染事例等が発生後は、「感染拡大の防止」として、以下の防止策を実施する。
- イ）生活空間・動線の区分け（ゾーニング・コホーティング）
 - ロ）消毒
 - ハ）ケアの実施内容・実施方法の確認
 - ニ）接触者への対応 など
- ③ 感染事例等が発生後は、必要に応じて事業所長と協議の上、感染対策業務継続（BCP）等に則り、以下の「医療機関や保健所、行政関係機関との連携」のためにすみやかに報告を行う。
- イ）医療機関（協力医）：とみむろクリニック ０７３５-２８-１０３０
 - ロ）熊野保健所：０５９７-８５-２１５８
 - ハ）三重県：０５９-２２４-３０７０（代表）
 - ニ）紀南介護保険広域連合：０５９７-８９-６００１
 - ホ）紀宝町役場福祉課：０７３５-３３-０３３９
 - ヘ）その他各事業所で報告が必要となる機関
- ④ 感染事例等の発生後は、必要に応じて管理者と協議の上、感染対策業務継続（BCP）等に則り、以下の「関係者への連絡」をすみやかに行う。
- イ）各事業所：鶴殿事業所 ０７３５-３２-０９５７
アプローチ事業所 //
 - 神内事業所 ０７３５-３２-２０２３
 - ロ）各事業所より関連する利用者の家族

<附則>

本方針は、２０２４年３月２５日から適用する。

本方針は、２０２４年１２月１８日から適用する。